



新しい年も、平和の旗を高く掲げて！

謹んで初春のご挨拶を申し上げます。

2013年 新春

代表理事一同・事務局長

新春のごあいさつ



戦争する国づくりにさせないために

政権党になった自民党は、選挙公約で「憲法を変え自衛隊を国防軍として位置づけ」る、「集団自衛権の行使」を掲げています。

私たちは、平和と憲法を守るという一点で、思想・信条などの垣根を超えた団結で、これを阻止しなければなりません。

今度の選挙の結果は、連立を組む予定の公明党と合わせると、衆議院の3分の2を超えました。しかし、自民党への国民の支持は強固なものではありません。

戦後の日本は、一人の戦死者も出していません。これは国民の強い意志と運動により「憲法9条」を守ってきたからです。

自民党の路線の危険性を、広範な国民のなかに拡げ大きな「戦争反対」の世論と運動を発展させなければなりません。

私たちは、「憲法を守り、戦争のない国づくり」を貫くため、広範な国民に大同団結を呼びかけ、運動を発展させるその先頭に立つ決意を表明するものです。
(水野 映一郎)



悪政をはね返そう

昨年は、東海原発廃炉の署名及び原発反対運動にご協力くださいまして、本当にありがとうございました。お陰様で27万人余の署名を、知事に提出することができました。

本年は、30万人に向けて頑張りたいと思います。自民党政権により、憲法改悪の動きが一層厳しくなっています。特に夏の参議院議員選挙で憲法を守る勢力を増加させるために、お互いに頑張ろうではありませんか。
(植田 金雄)

初春 希望に燃えてともに喜びたいと思います。

武芸百般の心得をもつ木村事務局長も3年になり平和委員会も順風満帆。老兵は老害にならぬよう気を付けるのみ。ただ、平和委員会再建以来、常に言われていながら果たされていないことがある。それは未開拓の分野、学習運動である。「黄金」の70代、3年目の今年、できるだけ勉強時間を確保し新たに挑戦してみたい。初夢と受け流していただきたい。それは、「平成の寺子屋・平和塾」(仮称)などと言ったものを試みたい。1年間に1テーマ。今年「沖縄から見た戦後日本のあゆみ」、2年目は「昭和の戦争とアジアの人びと」、3年目は「我々の育った戦後とはどのような社会だったのか」、4年目は「平和運動における、世界の中の日本」・・・というようなテーマでじっくりみんなと勉強していきたいと構想を練っている。ご協力よろしく。

(伊達 郷右衛門)

あっという間に2013年を迎えました。平和委員会の事務局長として3年目が終わります。この間平和委員会の皆さんを始め、多くの人たちの支援を受けやっとたどり着きました。ありがとうございます。茨城の各地でこんなにも多くの人たちが、平和を守るさまたまなとりくみを進めていることに今更ながら驚き、感動しています。またその一員であることを誇りに思います。

今年の夏は参議院選挙です。マスコミも動員した「それとはわからないような偏向キャンペーン」もさらに拡大することでしょう。原発再稼働反対の運動のように、一人ひとりが目を見開いた判断がさらに重要になります。

平和を守るのは、戦争を許さない国民一人ひとりの草の根の運動です。微力ではありますがこれからも皆さんとともに、平和委員会を発展させるためベストをつくします。今後も力を合わせ、周りの人たちにも呼びかけ、仲間を増やし、茨城の平和運動を大きな力にしていきたいと思います。
(木村 泉)

2012衆議院議員総選挙の結果

4割の得票で8割の議席なんて！

民意を反映していない！小選挙区制

.....

12月16日投票の衆議院選挙では、自民党は現有議席を大幅に増やして294議席とし、連立を組む公明党と合わせ、衆議院議員の3分の2を超えました。憲法を変えるという日本維新の会も57議席を獲得し第3党となりました。

しかし、今度の選挙結果が自民党への国民の強固な支持を示すものではない事ははっきりしています。今度の総選挙の最大の特徴は、国民を裏切った民主党に幻滅した多くの国民が、その願いをどこに託せばいいのか、見いだしかねたことにあります。それが戦後最低の投票率になり、多数の白票となって現れました。

また、マスコミは「民主」か「自民」か、また「第3極」か、というような、極めて偏向したキャンペーンをくり広げました。選挙戦に入ると、競馬レースのように、「当落予想」報道に終始し、「死に票」論を煽りました。

そのような一面的な報道のなか、民主党への批判票が野党第一党の自民党に集まり、それが、小選挙区制というゆがんだ選挙制度の中で、自民党に圧倒的多数の議席をもたらす事になりました。自民党の当選者の多くは小選挙区であり、比例票はほとんど増えていないことからでも明かです。

自民党は、当初打ち上げた「自衛隊を国防軍に・・・」という超タカ派の発言を押さえ、消費税増税には「景気が向上かなければ増税実施はむずかしい・・・」などと、国民の声を意識した対応を取らざるをえませでした。

こうした中で新たに発足する自民党政権は、消費税増税や原発推進、憲法改悪、集団的自衛権の行使、沖縄へのオスプレイの配備や全国の低空飛行訓練、普天間基地の辺野古への移転など、多くの国民が反対している問題に、3分の2以上の議席を獲得しながらも「あからさまなゴリ押しはできない」事実をリアルに見る必要があります。

平和新聞

2012年12月25日・2013年1月5日 合併号

2005号 (毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版 No. 643 合併号
2012.12/25-2013.1/5
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

『新春に思う』

鹿嶋市 二宮 久美子
(鹿行平和委員会)



歳を重ねるごとに、いろいろな人との出会いがおもしろく感じられます。昨年は傾聴ボランティアを始めたので、仲間やたくさんの高齢者たちとの出会いがありました。また以前我が家にホームステイしていたドイツの青年が3年ぶりに来日し、ささやかな国際交流をしています。もう会えないと思っていた小学校の同級生と半世紀！ぶりに再会できたのも感動でした。(すっかり関西人になっていましたが…)

新年はどんな出会いがあるかと思うとワクワクします。もちろん家族やこれまでに出会った人たちも大切にします。それにしても一方では新政権になり、憲法改悪、原発問題、経済など心配なことだらけです。平凡な私たちの幸せや生活を守るために、少しずつでも学習し連帯しなければ、と思います。

『友人との話題』

水戸市 金子 直美
(はばたき平和の会)



学校を卒業した友人達との会話が、徐々に話題が変化してきました。一年、また一年と年を重ねて今24歳になり、最近はいつもの話題(服や化粧品や恋愛など)にプラスして消費税増税やTPP、原発などのいまの日本が抱えている大きな問題も話題に上り盛り上がりつつあります。

でも希望を持った明るい話にはなりません。全ての友人に当てはまるわけではありませんが、今の経済情勢では何事も仕方がないのではないかという諦めの気持ちを持っている人が多いです。将来に何の展望も見えないと言う友人がいます。

私は、今後の友人関係を壊さぬようやんわりと政治が変われば展望も見えるけどどうなるかなあなんて弱気に言っただけの話題を変えます。温度差や価値観の違いはありますが、もう少しでも友人との考えのギャップを狭めていきたいので、まずは自分が勉強をしなくては…と思っています。

新春随想

『巳年は平和の年』

常陸太田平和の会 篠原 睦美
(県立高校教員)



明けましておめでとう御座います。「巳」は「命」そのもののシンボル、稲作の守り神と言われています。TPPなど悪政をはね返す運動を盛り上げる一年にしたいものです。

気の早い話ですが12月8日から3泊4日の日程で沖縄・修学旅行に生徒を引率します。津堅島という本島から30分程沖合いにある離島にも一泊する予定です。わたしの初仕事は、この島の受け入れ代表者の東松根さんに年賀状を出すことから始まりました。

沖縄修学旅行は、茨高教組でも「平和学習の手引き」を編集するなど取り組んできました。ひめゆりの塔や平和の礎、ガマ見学など同年齢の若者たちがどのように戦争に巻き込まれてしまったのかを見聞し、考えてもらいたいと準備をすすめています。オーストラリアを間近に見るかも知れません。

今年度の修学旅行には2人が参加しませんでした。一年生は入学からすでに5人が進路変更しています。県立高校の授業料が無料となつて4年目。今年は見直し検討に入るといふ報道があります。巳年は普賢菩薩が本尊とか。平和と暮らしを破壊する政党と政治はまっぴら、御免です。

第3回 理事会 開催のお知らせ

と き 2013年 1月27日 (日)
午後 1時00分 ~ 5時
ところ 水戸市福祉ボランティア会館 (ミオス) 中研修室
水戸市赤塚1丁目1番地 (赤塚駅北口)
皿 029 (309) 1001
内 容 ① 秋~冬のとりくみの総括
② 1月~定期大会 (6月) までの取り組み
・ 仲間づくり (会員1100人の実現)
・ 活動交流集会 ・ 百里初午まつり
・ 憲法フェスタパル ・ その他

『シリーズ』

竹筒 竹筒会

笠間市/笹嶋 武さん (内原・友部平和の会)



『俳句を暮らす』



【笹嶋さんの絵手紙】

わが内原・友部平和の会の笹嶋さんは、「炭焼き爺さん」と自らを称しているように、竹炭づくり、蕨編みの籠づくり、阿波踊り、俳句から都都逸まで、幅広い趣味をものにしていて、池波正太郎作「剣客商売」の秋山小兵衛を彷彿とさせるような洒落な調子であります。なかでも俳句では友部俳句会(会員18名)の一員として、人柄通りの悠々としたおらかな句を数多く詠んでいて、私も「笹嶋俳句」のフアンのひとつです。

震災を乗り越え 萩の乱れ咲き

(平成23年度文化祭俳句大会優秀賞)

震災の歪みを戻し 墓洗ふ、

(茨城俳壇・嶋田麻紀選に入った句)

いろいろな行事・活動の際に、ポケットに俳句手帳を忍ばせて、多彩な句を詠んで私たちを楽しませていただきたいと思います。(小林・記)

第4回 常任理事会 開催のお知らせ

と き 2013年 1月20日 (日)
午前11時30分 ~ 午後5時
昼食を用意します
ところ 平和委員会事務室
内 容 ① 秋~冬のとりくみの総括
② 1月~定期大会 (6月) までの取り組み
・ 仲間づくり (会員1100人の実現)
・ 活動交流集会 ・ 百里初午まつり
・ 憲法フェスタパル ・ その他